

第4回定例会が開催されるに当たりまして、第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

新型コロナウイルス感染症対策について

はじめに、新型コロナウイルス感染症対策について申し上げます。
本市における感染状況についてであります。8月に発令された緊急事態宣言の延長に伴い、引き続き様々な感染拡大防止策に努めて参りましたが、その後、次第に新規感染者数は減少し、10月の第2週以降、新規感染者は確認されておられません。

また、国内の感染状況についても大幅な改善傾向が見られ、9月30日には国の緊急事態宣言が解除され、北海道独自の「秋の再拡大防止特別対策」も10月末をもって終了しており、これらのことを受け、市としましても、公共施設の利用についての制限を解除するなど通常の運営体制となっている状況であります。

これもひとえに市民、事業者の皆様が感染対策の徹底にご協力いただくとともに、医療従事者の方々や接種会場の提供などによるワクチン接種に対するご尽力の賜物であり、長期にわたる多大なご協力に対しあらためて心より感謝申し上げます。

続いて、これまでの主な取組について個別に申し上げます。

【新型コロナウイルスワクチン接種】

最初に、新型コロナウイルスワクチン接種についてであります。
9月より若年層への予約受付を順次開始しており、10月11日に12歳から15歳の方への予約開始をもって接種対象者すべての予約が可能となりました。そして、11月17日現在で81パーセントの方がワクチン接種を行っている状況であり、11月末を目途として希望する接種対象者への2回目までのワクチン接種を完了する見込みとなっております。

また、国から3回目の追加接種を行う方針が既に示されておりますの

で、今後につきましても情報を注視しながら、引き続きワクチンの接種体制構築に向けて準備を進めて参ります。

【新型コロナウイルス感染症に係る経済対策】

次に、新型コロナウイルスに係る経済対策についてであります。北海道においては5月、6月の緊急事態宣言、6月から8月のまん延防止等重点措置、8月から9月30日までは再度の緊急事態宣言が発出され、その間、本市はそれぞれ特定措置区域等に指定となり、休業要請や時短要請に応じた飲食店等に対して道の協力支援金が支給されているところであります。

また、市の独自支援策として小規模事業者事業継続支援金事業を実施し、道の協力支援金を受給していない事業者に対し、20万円の支援金を支給しております。

更には、新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ市内経済の循環・回復を目的として、「えにわ商品券 えにわんチケットプレミアム」事業を実施しており、8月2日から8月末まで1次販売を実施し、2次販売の購入希望冊数を合わせると全体の87パーセントにあたる約6万1,000冊が購入される予定となっており、残数につきましては抽選方式とした3次販売により購入いただき完売を目指しているところあります。

また、10月15日からは確実な感染対策等を目的として北海道による第三者認証制度が開始されており、制度の内容などについて飲食店向けに周知を行っております。

今後も状況に応じた支援事業を検討して参ります。

以上が、本市における新型コロナウイルス感染症対策の主なものであります。

夏場から続いた第5波もようやく収束の気配が見られ、感染者数も大

幅に減少している状況にあるものの、感染の再拡大を防止するためには、今後も市民の皆様のご協力が不可欠となります。

北海道においては、11月から「冬の感染拡大防止に向けて」として、引き続き感染防止を図るよう求められていることから、市民の皆様におかれましては、マスク着用や手洗い消毒など基本的な感染対策の徹底にご協力いただきますようお願い申し上げます。

市としましては、飲食店での会食における人数制限の撤廃など行動制限の緩和が進んでいる中、感染防止対策はもとより経済対策も重要と認識しており、今後も市民の皆様のご協力をいただきながら、引き続き全力で新型コロナウイルス感染症対策に取り組んで参ります。

マイナンバーカード交付率促進について

次に、マイナンバーカード交付率促進について申し上げます。
国においては、令和4年度末までに、すべての国民がマイナンバーカードを取得することを目指しております。本市におきましては、休日・平日夜間窓口の拡大や確定申告会場並びに自動車運転免許証自主返納会場における臨時窓口の開設のほか、本年8月にコールセンターを開設するとともに、9月から予約管理システムを導入し、市民の利便性向上と交付率促進に努めているところであります。

恵庭市駐車場整備事業経営戦略の策定について

次に、「恵庭市駐車場整備事業経営戦略」の策定について申し上げます。
市内6箇所にある市営駐車場について、変化する経営環境に適切に対応し、将来にわたり安定的かつ効率的な運営手法により継続して市民サービスを提供していくための指針として、本年10月に、「恵庭市駐車場整備事業経営戦略」を策定しました。
今後は、経営戦略に基づき、駐車場の適正管理と経営の健全化に努めて参ります。

島松第2学童クラブの開設について

次に、島松第2学童クラブの開設について申し上げます。

10月11日に島松公民館内に「島松第2学童クラブ」を開設し、学童クラブ入会保留となっていた児童の受入れを開始するとともに、2か所で実施する島松地区学童クラブの利用人数の平準化を図りました。

子育て支援センター島松の移転について

次に、子育て支援センター島松の移転について申し上げます。

島松公民館内に島松第2学童クラブを開設したことに伴い、これまで島松公民館で実施しておりました「子育て支援センター島松」を、島松寿町に所在する寿町会館に移転し、10月4日から開設しております。

農業振興について

次に、農業振興について申し上げます。

北海道農政事務所の令和3年産水稻の作付面積および予想収穫量によりますと、作況指数は全道で108、恵庭市を含む石狩管内では109となり、収量・品質とも平年を上回る状況となっております。

他の農作物につきましては、7月から8月上旬まで続いた高温と干ばつにより一部の野菜類が影響を受けたところではありますが、小麦や大豆については収量・品質とも平年を上回る状況となっております。

次に、市営牧場についてであります。5月19日、20日に入牧を行い、市内外の酪農家13戸より201頭の乳用牛を受け入れ、10月20日、21日の退牧日まで156日間の放牧を行い生産者へ引き渡しを行ったところであります。

エニマルシェ賑わい創出事業について

次に、エニマルシェ賑わい創出事業について申し上げます。

10月1日に旧えきまちプラザがエニマルシェとしてオープンいたしました。オープン当日は約200人の市民の方などが来店し、お店の売りである飲むジェラートや、特産品を購入いただいたところです。

今後につきましても恵庭駅通商店街振興組合と連携しながら賑わい創

<p>秋のイベントについて</p>	<p>出に向けた取組を進めて参ります。</p> <p>次に、秋のイベントについて申し上げます。</p> <p>恵庭青年会議所などが主催する「えにわハッピーハロウィン2021」が、10月28日から31日の間で開催されました。</p> <p>会場となった「はなふる」では、ペイントかぼちゃやランタンかぼちゃなど約2,000個が飾られ、夜間にはあかりが灯されるなど、幻想的な風景に包まれました。</p> <p>また、期間中は「テイクアウトマルシェ」も開催され、市内の飲食店が提供するメニューを求めて、多くの皆様が集まり賑わいました。</p>
<p>はなふるスカイランタンまつりについて</p>	<p>次に、はなふるスカイランタンまつりについて申し上げます。</p> <p>はなふるの総括管理運営会社である株式会社ガーデンシティ恵庭の主催により、風船の付いたランタンを空に浮かべるイベントである「はなふるスカイランタンまつり」が11月6日に初めて開催されました。</p> <p>当日は天候にも恵まれ、会場となった「はなふる」では市内の親子連れなど約200組による願いを込めたランタンが晩秋の空に舞い上がり、場内は優しい灯りに包まれました。</p>
<p>宿泊施設の名称決定について</p>	<p>次に、「はなふる」内の宿泊施設の名称決定について申し上げます。</p> <p>現在、はなふるで建設中の宿泊施設についてですが、10月29日に「積水ハウス株式会社」と「マリオット・インターナショナル」から、施設名称を「フェアフィールド・バイ・マリオット北海道えにわ」とすることが正式に発表されました。</p> <p>引き続き、事業者との協議を進め、2022年春の開業に向け取り組んで参ります。</p>

全国都市緑化北海道フェアについて

次に、全国都市緑化北海道フェアについて申し上げます。

9月30日に、北海道フェアを盛り上げる取組の1つとして、テーマソングの制作発表会を行いました。新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、報道機関のみを対象としての実施ではありましたが、「ショッピングモールの歌姫」として話題の北海道出身の半崎美子さんに制作をお願いしたところであります。

また、10月18日から29日にかけて、市内の幼稚園・保育園児約600名に参加いただき、来年の北海道フェア期間に花を咲かせる取組として、「たねダンゴ花壇」の造成を行い、10月30日には一般市民の方を対象として、「たねダンゴ教室」を実施いたしました。

更に、11月20日には北海道フェアの周知及び機運醸成を図るため、北部方面音楽隊のご協力をいただき、花と緑をテーマとしたガーデンフェスタ北海道2022音楽祭を開催いたしました。

今後とも、令和4年6月の北海道フェア開催へ向け、共催者である北海道や公益財団法人都市緑化機構とともに周知や準備を進めて参ります。

以上、第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、本議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます。